

平成16年度病害虫発生予察注意報第4号の発令について

病害虫発生予察注意報は、重要な病害虫の多発生が予想され、早急に防除措置を講ずる必要が生じた場合に発令する情報です。

病害虫名：黄化えそ病（MYSV）

作物名：施設キュウリ、施設メロン

11月下旬に行った巡回調査の結果、県中央部の抑制キュウリで平年の約2倍（発生の多かった前年並み）の発生面積となっており、発病株率も平年より高くなっています。また、各農業振興センター、各JAなどからの聞き取り調査によると、県中央部のメロンでも発生が多くなっています。

現在、本ウイルスを媒介するミナミキイロアザミウマの発生は防除により平年並～やや少なめですが、感染源となるウイルス感染株が多く、今後、後作メロン、後作キュウリにおいても生育初期からの感染が懸念される状況です。

対策としては発病株の早期発見、除去に努め、伝染源をなくすとともに媒介虫であるアザミウマ類の徹底防除が重要です。防除に当たっては薬剤防除のみではなく、ハウス開口部への防虫ネットの被覆、紫外線カットフィルムの使用、シルバーポリマルチの利用、また、栽培終了時のハウスの蒸し込み処理やほ場及び周辺の除草などを必ず行ってください。

なお、病徴等の詳しいことについては高知県病害虫防除所ホームページ技術情報ライブラリー（MYSVの項）をご覧ください。

<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/byoki/boujoshou/index.html>

病徴写真



キュウリ



メロン

